令和7年6月市議会　建設水道委員会資料

第58号議案

令和7年度長崎市一般会計補正予算（第1号）

目　次　　ページ

《8款　土木費　5項　都市計画費》

6目　公園費　・・・・・　2～7
（歳出の補正）

土 木 部

令和7年6月

予算説明書					事　業　名	補正額
ページ	款	項	目	番号		
24～25	8 土木費	5 都市計画費	6 公園費	1-1	施設維持管理費	千円 1，657

1　事業概要

平和公園（東地区）の中心地地区と原爆資料館を結ぶ屋外エレベーターは、令和6年10月以降、数回にわたる異常停止が生じたため、昨年11月末から使用を停止している。メーカー確認の結果、補修しても状態改善が図れない可能性があること、平成9年の設置から約28年であり法定耐用年数（17年）を超えていることから、施設全体の更新を含め対応を検討しているが、長期的にエレベーターを停止せざるを得ない状況である。

このような状況においては、う回路を利用してもらわざるを得ないが、う回路となる通路の勾配が厳しいため、短期的な対応として車いす利用者等の負担軽減を図るため、中心地地区～原爆資料館の移動手段として電動アシスト付き車いすを無料で貸し出すもの。

（１）電動アシスト付き車いすの無料貸出

ア	車いすの種類・台数	電動アシスト付き車いす　２台（ただし、8／6～8／15は6台）
イ	貸出対象者	車いすの利用が必要な方（ただし、介助者の付き添いが必要）
ウ	貸出場所	原爆資料館及び平和公園屋外エレベーター付近の２か所
エ	利用可能日	全日（12/29～12/31を除く）
オ	利用可能時間	９時～17時（原爆資料館の開館日、開館時間と整合を図る）
カ	貸出方法	原則、事前予約。貸出１回の利用は原則２時間 ※雨天時は貸出不可
キ	貸出利用範囲	平和公園　東地区の一部（５　位置図参照）
ク	事業期間	令和７年７月中旬～令和８年３月末（約９か月間）

（2）う回路案内看板作成設置　設置場所：2か所（5　位置図参照）　※4か国語表記

２ 補正の内容

（１）電動アシスト付き車いすの貸出　1,452千円

ア　車いす貸出業務委託　639千円
イ　電動アシスト付き車いす賃借　457千円
ウ　交通乗用具搭乗中危険補償保険料　87千円
エ　車いす保管庫購入　269千円

（２）う回路案内看板作成設置　205千円

３ 補正の理由

平和公園（東地区）の中心地地区と原爆資料館を結ぶ屋外エレベーターは、故障のため昨年11月から使用停止としているが、長期的にエレベーターを停止せざるを得ない状況であるため、短期的な対応として車いすの貸し出し及びう回路の案内を実施する。

なお、来年度以降の対応については、今年度の利用状況を踏まえて検証し、判断する。

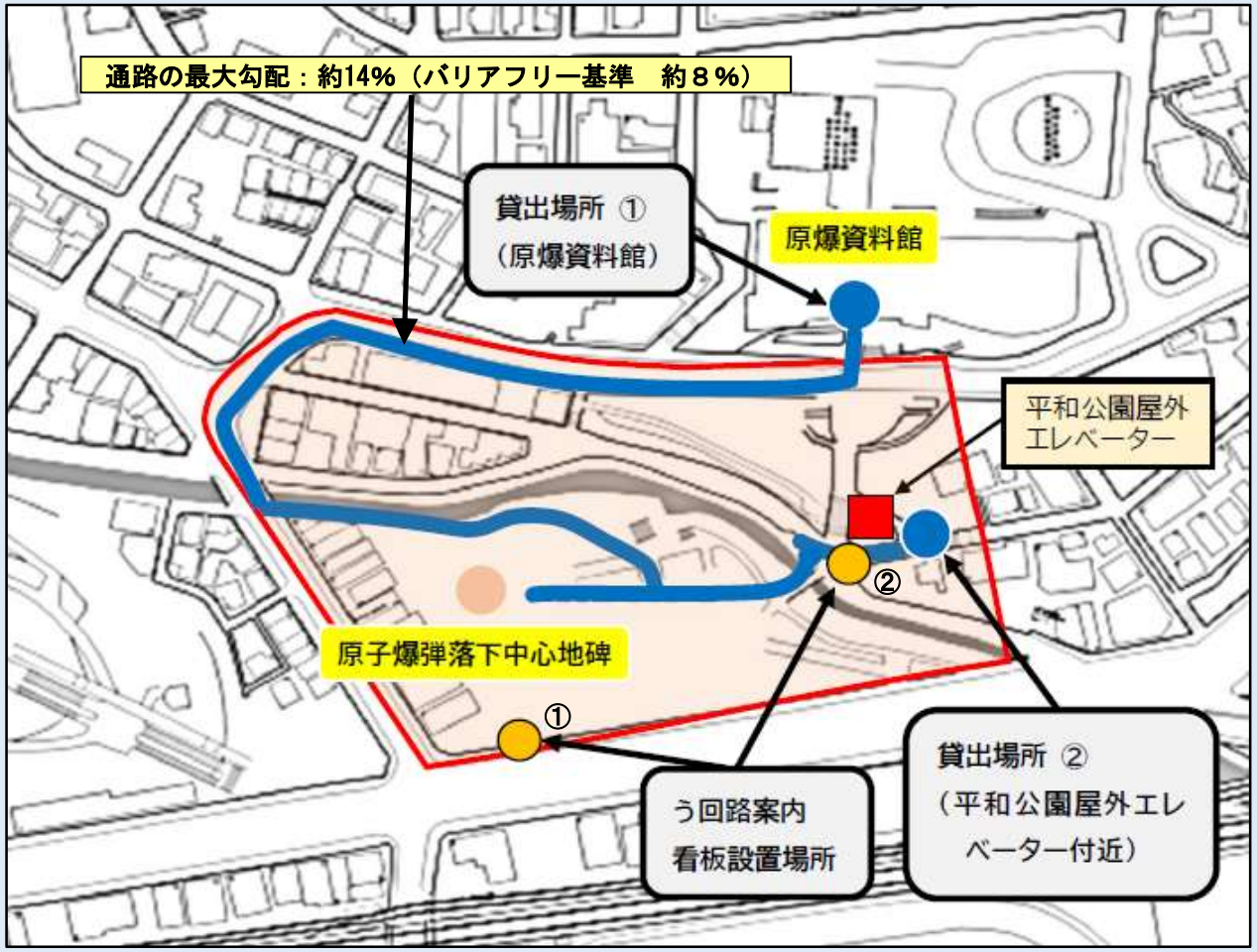
４ 財源内訳

区分	事　業　費	財　源　内　訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他※	一般財源
補正前の額	千円 107,747	千円 －	千円 －	千円 －	千円 34,355	千円 73,392
補正額	千円 1,657	千円 －	千円 －	千円 －	千円 －	千円 1,657
補正後の額	千円 109,404	千円 －	千円 －	千円 －	千円 34,355	千円 75,049

※公園使用料、雑入（電気使用料等）

５　位置図

電動アシスト付き車いすの貸出利用範囲（平和公園東地区一帯）及び移動ルート図



参考

【電動アシスト付き車いすのイメージ】

電動アシスト付き車いすの仕様例

項 目	仕 様	
寸 法(全長×全幅×全高)	985×500×880	
折り畳みの幅(mm)	310	
重量(バッテリー除く)(kg)	17.7(16.73)	
タイヤ	前2輪	6インチ
	後2輪	14インチ
アームサポート	跳ね上げ式	
フットレッグサポート	スイングアウト・脱着	
駆動方式	FR	
バッテリー	リチウムイオン24V 120Wh	
充電器(入力)	電源	AC100V 50/60Hz
	充電時間	5～6時間
連続走行距離(km)	11.5	
使用者最大体重(kg)	100(積載物を含む)	

※道路状況、使用環境および外気温等の条件により変動あり。

６　長期的対応の検討事項

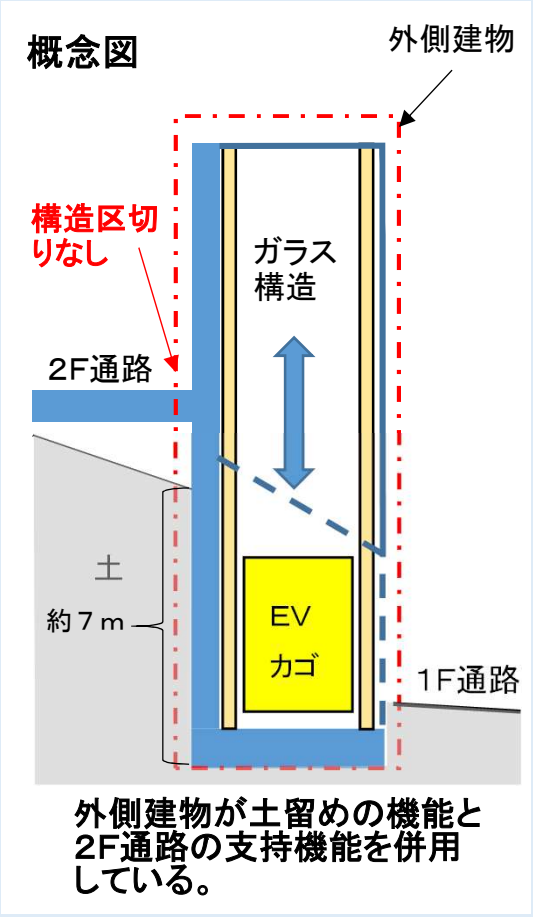
（1）故障エレベーターの概要

ア　設置年　　平成９（1997）年（設置後約28年）

イ　耐用年数等　　法定耐用年数：17年　／　更新周期：25～30年　【長崎市公共保全計画】

ウ　定員　　11名

（写真）



外側建物が土留めの機能と
2F通路の支持機能を併用
している。

（2）現在の作業状況

設置当時のエレベーター及び外側建物の設計図の有無確認　⇒　エレベーターの設計図は存在
外側建物の設計図は調査中

内部（エレベーター部分）更新の技術的可能性の確認　⇒　メーカーに確認中

（3）更新（全体更新・内部更新）の場合の標準的な流れ

地質調査 →地耐力の確認

↓

復元設計 →図面の復元及び構造計算

↓

工法検討設計 →地質調査及び復元設計を基に工法検討

ケース	内　容
1	内部（エレベーター部分）及び外側建物全部の更新
2	内部（エレベーター部分）更新

↓

詳細設計

↓

工　事